町田市町内会・自治会
連合会だより
E-mail : machida_choujiren@yahoo.co.jp
2024年 3月
98号
217 団体
79,268 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人　高橋清人

【２０２３年度町田市町内会・自治会連合会役員研修会・境川洪水対策施設見学】

実施日　２０２４年２月１９日(月)午前９時００分～午後４時００分

参加者　町内会・自治会連合会 10 地区会長 37 名 町田市下水道部２名 東京都南多摩東部建設事務所 神奈川県大林組　安藤ハザマ・東鉄・松尾建設共同企業体

目　的　『境川沿い住民の安全・安心に直結する境川の溢水、洪水対策施設の現状を見て、当面の対策を考える』

現　状　境川は、相原に源を発し全長 52.1km の二級河川(都道府県が管理)。根岸橋から上流と鶴瀬橋から下流を神奈川県が管理し、その間を東京都が管理しており、１時間に 50 ミリまでの降雨は川で対応、それ以上 65 ミリまでは川沿いに設置する「調整池」で対応する、としている。神奈川県は、河川整備が進まず、現状の 30 ミリ降雨対応のままに留まっている。そのため、東京都は、50 ミリ対応の整備をした川の水を 30 ミリ対応に狭めて神奈川県側に流している。こうした現状を踏まえ、工事中の調整池と神奈川県側の河川状況を確認することとなった。

コース　①木曽東調節池②金森調節池③横浜市瀬谷区入村橋工事現場④藤沢市藤沢橋付近⑤境川遊水池公園

① 木曽東調節池(工期:令和 2 年度から令和 8 年度)
貯留量：4.9 万㎥(25m プール 164 杯分)
形式：地下箱式 施設規模：長さ約 115m
幅約 60m 深さ約 22m

② 金森調節池(工期:平成 30 年度から令和 6 年度)
貯留量：15.1 万㎥(25m プール 500 杯分)
形式：地下箱式 施設規模：長さ約 190m
幅約 90m 深さ約 20m

③横浜市瀬谷区入村橋河川改修工事現場
相鉄線沿線の河川の蛇行を直線にする工事を行っているが水量への対応は行われていない。

④藤沢市藤沢橋付近
藤沢橋付近は、川幅も狭く川岸に接して人家等がある。

⑤境川遊水池公園
神奈川県は、遊水池公園を横浜市戸塚区、泉区・藤沢市に整備し、境川の溢水を吸収する方針。

※東京都は、新中里橋近辺に木曽東と同等規模の３つ目の調整池の設置を計画決定し、工事説明を開始している。当面、境川に流れ込む 65 ミリ/時の降雨量 76 万㎥を目途として調整池の設置を進めていく考えである。

（編集委員：大谷光雄）

まちだECO to フェスタで「持続可能な地域づくり」をアピール

まちだECO to フェスタが３月３日、町田市バイオエネルギーセンターで開催されました。連合会も「持続可能な地域づくり」をテーマに展示と非常食の試食コーナーを設けました。

町田市では、「楽しく学んで、見て、聞いて、触れて、体験して、新たな気づきが喜びになる！」環境イベント「まちだECO to（いーこと）フェスタ」を３月３日に町田市バイオエネルギーセンターで開催しました。

＜町田市バイオエネルギーセンター＞

昨年、新しい施設が竣工したのを機に始められたのがこの「まちだECO to（いーこと）フェスタ」で、今回は第２回目になります。
今年のテーマは「ごみを減らして、地球にECO to（いーこと）しよっ！」です。連合会でも「持続可能な地域づくり」をテーマに非常食の試食コーナーを設けると共に町内会の資料を展示し、町内会・自治会をアピールしました。

＜非常食の説明を聞く石阪市長＞

災害時に開設される避難所の主体的な運営者は地域の町内会・自治会です。良好な運営をするためにも日頃からの地域づくりが重要なポイントとなります。
少子高齢化や価値観の多様化で町内会・自治会を離れる方もいますし、新たに加入する方も多くはありません。しかし、災害時ほど人と人とのつながりが重要な場面はありません。
今回、非常食の試食コーナーを設ける事によって共助の要となる地域づくりをもう一度考えるキッカケになっていただければと思います。
持続可能な地域づくりの重要さを再認識した一日でした。

＜３Ｒ推進活動をする「うまちゃん&ゆうちゃん」の演奏＞

会場にはステージも設けられ、バンド演奏の歌声に会場も盛り上がりました。

会場にはゼルビーも駆けつけました。

世界共通の行動目標、
「SDGｓ」
ご存じですか？

（編集委員　熊坂恵司）